様式Ⅳ－１６　　　　　　　　　　　第三者と共同研究する理由書

　　　　年　　月　　日

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

生物系特定産業技術研究支援センター 所長　殿

（報告者）

研究機関名 ： 共同研究するコンソ構成員（コンソ方式でない場合は受託者）が2者以上の場合はいずれかの機関が代表して報告する。

代表者名 ： 職位も記す。　　　　　　　　公印

下記事業に係る○○年○月○日付け委託契約に基づく委託試験研究について、下記の第三者（試験研究計画書に第三者の共同研究内容を記載した後は「協力機関」と読み替える。）を共同研究に加えることをあらかじめ報告します。

１．委託試験研究事業の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | ○○○○○事業 |
| 研究領域（研究課題）名「試験研究計画書名」 | ○○○○○○○ 各事業の研究領域、研究分野、研究課題等を記入する。「○○○○○○○の開発」 |
| コンソーシアム名、代表機関名・代表者名、研究代表者名 | コンソーシアム： コンソーシアム方式でない場合は記入不要。代表機関・代表者： 委託契約書の「代表機関名・代表者名」を記入する。研究代表者： ××大学　××部　○○太郎 |
| 試験研究の実施期間 | 　　　　年　月　日　～　　　　年　月　日　原契約書の委託期間を記す。 |

２．共同研究者

|  |  |
| --- | --- |
| 構成員（受託者） | ○○大学　　代表者 学長 ○○○○　　本理由書の報告者も記入する。研究実施責任者名：所属部門も記す。○○研究所　代表者　所長 ○○○○　　共同研究する全構成員を記入する。研究実施責任者名：所属部門も記す。 |
| 第三者 | △△株式会社　代表者　社長 ○○○　 共同研究する全ての第三者を記入する。 |
| 第三者と共同研究する理由 | ＜試験研究計画との整合性＞本共同研究の目的が、試験研究計画書に記載した構成員の担当課題を達成するために行われるものであることを述べる。第三者の協力内容等を記す。＜共同研究に至った経緯＞＜期待できる成果予測＞当該第三者を共同研究に加えることで期待できる特段な効果等を記す。＜コンソーシアムの他の構成員の同意状況＞第三者と共同研究を行うことについて、他のコンソ構成員から書面（メール可）による同意があらかじめ必要です。コンソ方式でない場合は記入不要。＜その他＞ |
| 特記事項 |  |

＜補足説明＞

１　構成員は、共同研究する第三者（協力機関）との間で、共同研究契約等を事前に締結すること。

共同研究契約等は、

一　委託契約との関係が明記されていること。

二　委託契約が定める秘密の保持及び成果の取扱いに係る規定に適合した又はこれを優先した共同研究契約であること。

三　委託契約で構成員が負う秘密の保持及び成果取扱い義務を構成員が協力機関へ課していること。

２　構成員は、共同研究契約等を代表機関を通じて生研支援センターへ事前に開示するとともに、生研支援センターが必要と認める場合は、生研支援センターとの間で共同研究契約等の内容について調整すること。

以上